

三大開拓地交流 事業が開催!

令和7年7月29日(火)~8月1日(金)の4日間、日本三大開拓地小学 生交流事業が開催されました。

この事業は、日本三大開拓地小学生交流市町の小学生を対象とした交流により、次世代を担う人材の育成と友好を深めることを目的としています。 今回は、青森県十和田市と福島県矢吹町、川南町の小学生計42人が参加しました。





川南町の小学生と初対面!



会って10分でお友達!?



歓迎のあいさつ

当初の計画では、2日目から宿泊場所を青島少年自然の家に移し、青島海水浴場で海水浴やボディボード体験を行う予定でした。しかし、2日目にロシアのカムチャツカ半島付近で発生した巨大地震の影響により宮崎県に津波注意報が発表されたため、急きょ、2日目以降のスケジュールが変更となりました。

楽しみにしていた海での活動はなくなったものの、高千穂峡や天岩戸神社といった宮崎を代表する観光スポットを 巡りました。また、ぷらっつでの夕食の後には、サプライズのスイカ割りや花火を楽しみました。



3市町わがまち紹介



川南町開拓史の講話



古墳の中へ!(西都原)



ズバッと割れたよ!



みんなで焼肉



絶景!高千穂峡



じゃあね、バイバイ



またな!

おかえりなさい!!

今回、矢吹町の子どもたちを引率していただいた矢吹町教育委員会の坂本あすなさんは、なんと、小学生の時にこの交流事業(開催地川南町)に参加してくれてました!



当時を振り返り、坂本さんは「サーフィン体験や軽トラ市も楽しかったけど、一番思い出として残っているのはホームステイ先の家族との交流でした。また川南にくることができてとてもうれしい。」と語ってくれました。

消防団操法大会が開催されました

令和7年7月19日(土)、サンA川南文化ホール駐車場にて、第72回川南町消防操法大会が開催されました。

心配されていた雨の影響もなく蒸し暑い中での大会でしたが、各部の団員は素晴らしい訓練の成果を披露しました。



ポンプ車操法の部 優勝 第5部

(清水・孫谷・大久保・東平下地区方面)

指揮者 黒木 裕一郎 1番員 長友 裕次郎 2番員 河野 京 3番員 田中 剛 4番員 黒木 唯登





小型ポンプ操法の部 優勝 第10部

(登り口・込の口・八幡・竹浜・菊友 地区方面)

指揮者 髙橋 直輝 1番員 今井 伸幸 2番員 黒木 達郎 3番員 嶽 裕一





小型ポンプ積載車操法の部 優勝 第7部

(十文字・須田久保・前の田・尾脇・ 大内・白鬚地区方面)

指揮者 竹田 圭介 1番員 下地 泰信 2番員 小川 貴稔 3番員 藤野 晃暉





川南町ふるさと大使に任命!

令和7年8月1日(金)、川南町ふるさと大使の任命書授与式が行われました。 授与されたのは、社会人クラブチームの「川南ラグビーフットボールクラブ」です。

このふるさと大使は、様々な分野で活躍している個人又は団体を通じて本町の魅力を広く情報発信することで、知名度及びイメージを向上させるとともに、観光、スポーツ、芸術、文化等の振興を図ることを目的

としています。







任命書の授与を行った宮崎町長は「九州クラブラグビー界の最高峰リーグ「九州トップクラブリーグ」において20年間、一度も降格することなく参戦し続けていることは素晴らしい実績。これまで、試合を通し本町のPRを自然に行っているのと同時に、たくさんの県外の方々との人的交流を果たしているみなさんの活動は、本町における関係人口拡大等の一翼をすでに担っている。今後も川南町の名前を全国にPRしてほしい。」と述べられました。

任命書を受理した河野代表は「今後も感謝の気持ちを忘れることなく、川南町の人、地域、経済の活性化に寄与すべく、ふるさと大使の職責を果たしたい。」と語られました。

日本郵便との協定締結式

令和7年6月25日(水)、「川南町と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定」の締結式が行われました。連携は次の事項に関することです。

- (1)安心・安全な暮らしの実現
- (2) 地域経済活性化
- (3) 未来を担う子どもの育成
- (4) ダイバーシティ推進
- (5) その他地方創生

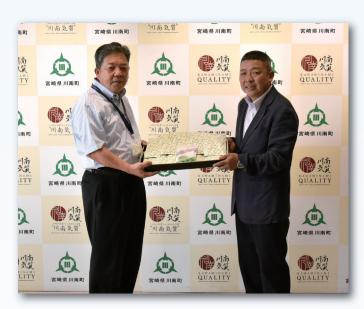


日本郵便株式会社の岡田宮崎県北部地区統括局長は「町内を広く見まわり、地域の人々が安心して暮らせるまちづくりに協力ができるよう努めていく。」と語られ、宮崎町長は「行政と郵便局、ともに大きな発展につながることを願う。」と述べられました。

新茶を楽しんで

令和7年5月20日(火)、川南町茶振興会の 井尻雄樹会長らが役場を訪れ、新茶の贈呈式を 行いました。

井尻会長は「寒さがあって10日ほど遅れたが、出来は昨年同様よかった。」と報告されました。また「お茶の生産現場は大変で、特に茶摘みの時期は寝る間を惜しんで作業をしている。ただ、この川南の雄大な景観に、きれいに整備されたお茶畑も一役買っているとの思いもある。急須で入れた香り高いお茶を、ぜひ皆さんに飲んでもらいたい。」と語られました。



美味しい牛乳をどうぞ





令和7年6月9日(月)、宮崎県中央地域酪農協議会青年部が「父」と「乳」の語呂合わせで牛乳の消費拡大を目的に行われている「父の日に牛乳(ちち)を贈ろう!」キャンペーンのため、町長に町内産の乳製品を贈りました。

父の日に花束を





令和7年6月13日(金)、川南町地域婦人連絡協議会の方々が15日(日)の父の日にあわせて、町長を表敬訪問されました。

この日は、町長と教育長に、町内で栽培された 花束が手渡されました。協議会の方々の笑顔とね ぎらいに、たくさんの元気をいただきました。

社会福祉大会、福祉まつりが開催されました

令和7年6月14日(土)、川南町総合福祉センター1階にぎわいホールにて第67回川南町社会福祉大会が開催されました。

この大会は、長年にわたり社会福祉活動の発展に功労のあった 方々を表彰し、活力ある地域社会の実現を目的として開催されて います。

今年は、12名の方に表彰が贈られました。 皆様のこれまでの活動に感謝いたします。

1 社会福祉事業永年勤続功労

 山田 倫康 様
 永友 文代 様
 井尻 惠雄 様

 田中 洋子 様
 河野 平治 様
 日高 孝氏 様

 宮越 達也 様
 山下 智子 様
 佐藤 弘 様

壱岐 さよ 様 鈴木 ルミ子 様



伊東 康男 様

大会終了後には、福祉センターや役場駐車場にて福祉まつりが開催されました。

福祉まつりでは、手話体験やチャリティーバザー、認知症啓発映画上映会、焼き肉のふるまいなど様々な催しが行われ、家族連れなど多くの町民が楽しい時間を過ごしました。

また、同センター内の子育て支援センターこどみんによる「こどみんまつり」も同時開催し、会場は子どもたちの元気な笑い声であふれていました。



手話体験



地域おこし協力隊による体験コーナー



こどみんまつり

川南町トップ会議

令和7年7月31日(木)、川南町役場応接室にて令和7年度第1回川南町トップ会議が行われました。この会議は、町長と町内4団体の長が川南町の展望や課題等について話し合うものです。

今回は網代尾鈴地区本部長(JAみやざき) と俵組合長(川南町漁業協同組合)、安藤会長 (川南町観光協会)、宮崎町長らが、移住者受入 れのためのアドバイザー設置や就農支援の推進 等について議論されました。宮崎町長は「民間 活力を最大限に生かしたまちづくりを実現する ため、町と町内4団体の力を合わせて頑張って いきたい。」と述べられました。







旭日単光章を受賞されました

令和7年6月25日(水)、久木野清人(くきのきよと)さんへの 旭日単光章の伝達式が行われました。

久木野さんは、平成11年5月から12年間にわたり川南町議会議員を務められました。

また、平成13年3月から平成15年4月までの間、日本三大開拓地交流促進特別委員会の委員として川南町の「開拓者精神」の継承にご尽力されました。この度の受賞、誠におめでとうございます。



頑張れ!新規ピーマン農家

令和7年6月30日(月)、令和7年度川南町トレーニングハウス農業研修修了式が行われました。 このトレーニングハウス農業研修は、新たな農業の担い手育成と町への定住を目的に行っている事業 です。

この度、第6期生の山形さん、大嶋夫妻、矢永さんの3組4名が2年間の研修を終えました。 関東から転入された修了生の山形さんは「2年前、農業も町のことも何もわからなくて不安な時もあったが、今は充実した生活を送っている。今後は、地域とともに成長し、町のためにも頑張っていきたい。」と語られました。





修了証の授与と、記念品が贈呈されました。

ご寄附いただきました

令和7年6月18日(水)、有限会社香川畜産様 が役場を訪れ、寄附金の贈呈式が行われました。

この寄附金は、畜産の振興や子育て支援、子 どもたちへの教育のために活用してほしいとの お申し出によりいただきました。

また、あわせて川南町観光協会にもご寄附い ただきました。ありがとうございました。



同日、町内にお住いの小山伊津子さまが役場を訪れ、寄附金の贈呈式が行われました。

この寄附金は、このほどサンA川南文化ホールで行われたチャリティーカラオケ大会の参加者からご寄附いただいたものです。

ありがとうございました。



英語のレベルを問わず、参加者同士で 英会話を楽しみませんか?

赤野未夢

令和6年12月より、川南町にあるゲストハウス「HOSTEL LEASH」で大人向けの英会話イベント「ENGLISH TIME」を実施しています。

好評につき、令和7年度から定期的に開催することになりました。 イベントでは、用意されたテーマや週末の予定、最近の楽しみ などについて簡単な英語を使って会話を進めていきます。

時々、カードなどを使った英語ゲームも実施します。

また、英語のアウトプットの練習を目的としているため、英語の 正確性は問いません。完璧な英語が話せなくても大丈夫です。

必要な時はいつでもスタッフが言語サポートをします。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

毎月の開催日時の詳細については、HOSTEL LEASHまたは 幼児英語のインスタグラムで当月の5日までに事前にお知らせするのでご確認ください。

地域おこし 協力隊 活動報告



check!



クレヨンでスクラッチアート

浜田翔子

令和7年6月14日(土)に開催された福祉まつりにて、「クレヨンでスクラッチアート」のブースを担当いたしました。約40名の方が参加してくださいました。会場内は、様々なブースが設けられ、賑わっていました。

今回は、スクラッチという技法を用いて、小さな作品づくりを行いました。真っ白なはがきと24色のクレヨンを用意。「好きな色で塗ってみてね。」と伝えると、みなさん集中して色を塗っていました。続いて、真っ黒に塗りつぶしていきます。最後に、竹串で線をひっかいてみると、鮮やかな線が登場。削りながら異なる色が出てくるところが面白いという声が多かったです。

ぜひ、お家でもチャレンジしてみてくださいね。





Soccer international friendly match in KAWAMINAMIを開催しました!

高橋寬行

「かわみなみ日本語教室」の笹川晃代さんと合同で、サッカーを通じた国際交流イベントを開催しました。川南町在住のインドネシア人を中心に結成されたKATSU FCと、20代~40代の日本人メンバーによるFC KAWAMINAMIとの試合を実施。

その後、インドネシアのお菓子を楽しみながら交流会も行いました。

これまで町内の外国人チームが日本人チームと対戦する機会はなく、今回の対戦を心 待ちにしてくださいました。その気持ちは真剣なプレーやフェアな姿勢に表れており、 試合後の交流会では、「次は大きなグラウンドで試合をしよう」と約束を交わしました。







@HIROYUKIKAWAMINA

言葉や文化の壁を越えて、共通のスポーツを通じて生まれる交流は大変感慨深いと感じました。今後も町民の健康促進につながる活動を積極的に行いたいと思います。



協力隊として最後のチャレンジは、 「関係人口」をつくることです

塚井穂乃佳

「より多くの若い方に"また来たい"と思ってもらえるきっかけをつくりたい。」

「もっと多くの方に、この町の魅力に気づいてほしい。」そんな思いを胸に、NPO法人ECOFFさんと連携して、若者が川南町で農業や暮らしを体験できる「村おこしボランティア」を始めました。空き家を拠点にしながら、町のみなさんにもたくさんご協力いただき、ようやく形になってきたところです。この取組に込めた思いや、ここに至るまでの経緯などは、とてもこの場では書ききれません…。

よければ、こちらの二次元コードから協力隊ブログを読んでみてください!





川南町PTA研究大会

令和7年7月6日(日)、川南町農村環境改善センター 研修室にて、令和7年度川南町PTA研究大会が開催さ れ、川南町NF教育研究会健康教育部会による講演が行 われました。

講演は「生活アンケートからみる川南っ子の健康課題 ~メディアとの付き合い方を考えよう~」と題し、国光 原中学校の毛上先生が、朝食の役割や睡眠のメカニズム、 睡眠不足が引き起す健康への影響、メディアの不適切な 利用による心身・学力への影響について説明されました。

その中で、スマートフォン等の機器の使用について、 子どもたちや保護者へ具体的な提言がなされました。



スマートフォンやゲーム機などを使う場合

川南っ子の3つの約束

- ①守ろう
 - ・遅くとも夜10時まで
 - ・学校へ持っていかない。
- ② 大切にしよう
 - ・悪口を書き込んだり、いじめをしない。

・知らない人からの誘い受けず、写真も送らない。

- ・決まった場所で使用し、保管する。
- ・勉強中や食事中は使わない。





保護者の方へのメッセージ

- ① スマートフォン等を持たせていない場合
 - ・今、それが本当に必要なのかを、子どもたちとよく話し合いましょう。
- ② すでにスマートフォン等を持たせている場合
 - ・スマートフォン等について、保護者自身が必要な知識を身に付けましょう。
 - ・家庭では、午後10時までに使用を止め電源を切らせましょう。
 - ・1日の使用時間の上限など、使用ルールを子どもと一緒に考えましょう。
 - フィルタリングを確認しましょう。

川南の子どもたちのために

令和7年6月26日(木)、川南町役場応接室にて、日髙美枝子 教育委員の辞令交付式が行われました。

日高委員は普段、町内の事務所に司法書士として勤務されてい ます。

宮崎町長は「子どもたちは町の宝です。子どもたちのために頑 張ってください。」と述べられ、日髙委員は「謹んでお受けしま す。」と力強く応じられました。



表敬訪問

プロボクサーの永田大士さん(川南町出身)が 川南町役場を訪れ、今年6月に行われたタイトル 防衛戦の試合結果を報告されました。

今回は惜しくも敗戦となりましたが、「一階級 上げてウェルター級で再起を目指す。年内にも試 合を組みたい。」を決意を語られました。

心類

Himukaカンフークラブの 吉玉陽飛 (よしたまはるひ) さ んが川南町役場を訪れ、今年 4月に出場した第33回JO Cジュニアオリンピックカッ プ武術太極拳大会での試合結果 を報告されました。

今回入賞はなりませんでしたが、

今は来年4月に東京で開催される全国大会を見据え て稽古に打込んでいるとのこと。頑張ってください。





学生の問題協の

令和7年7月2日(水)からの2日間、唐瀬原中学 校2年生による職場体験が行われました。

生徒は、町内外の27事業所で実際の業務を体験 しました。





川南町立中央保育所では3人の女子生徒が来所し、 園児たちのお世話や一緒にお庭遊びなどを行いまし た。業務体験した生徒は「子どもたちがかわいくて、 元気もすごい!」と語り、お庭遊びの休憩中の園児 に「ちゃんとお茶飲んでね。」と優しく声掛けもして いました。

令和7年6月16日(月)、 山本小学校体育館にて、 「東児湯ハンドアップマ イスター」の任命式が行 われました。

この取組は、悲惨な交

通事故から身を守るため、歩行者自らが横断歩道を 渡る際に手を上げるなどして、運転者に横断の意思 表示を行い、車が止まるのを待ってから横断する東



児湯ハンドアップ運動の浸透を図るため、各小学校 6年生を「東児湯ハンドアップマイスター」に任命





自身魚のトマトソースかけ

今回のレシピは、野菜がしっかり摂れるメイン料理をご紹介しま す。健康を維持するために1日に食べてほしい野菜の量は何グラム かご存じですか?

1日の野菜摂取目標量は350グラム以上で、野菜料理5皿分(小鉢70グラム程度) とされています。

宮崎県民の1日野菜摂取量は約250グラムで、あと小鉢1皿分(約 100グラム) 不足していると言われています。 「毎日プラス1皿の野菜」 を意識して、バランスのよい食生活を心がけてみませんか。

また、野菜の旨味を生かし、塩分量が1グラム以下の適塩メニューとなっています。ぜひ一度レシピどおりに作って食べてみてください。







魚がこんがり焼けると風味が増して *さらにおいしくいただけます* ♪

材料(4人分)	作り方
白身魚(1枚60g) 4枚 1g 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月	 【下処理】 ・じゃがいもは5mm幅のいちょう切りにし、煮崩れない程度に下茹でをする。 ・パプリカは1cm角の角切りにする。 ・冷凍ブロッコリーは、下茹でし水気を切っておく。 ①白身魚は水気をふき取り、両面に塩を振った後、薄力粉をまぶす。 ②フライパンにオリーブオイルを入れ、中火で熱し白身魚を並べる。両面に焼き色がつくまで焼く。 ③別の鍋にオリーブオイルを入れ中火で熱し、じゃがいも、黄パプリカ、ブロッコリーを加え炒める。 ④(A)を加え、弱めの中火で5分ほど煮込む。 ⑤お皿に②の魚を盛り付けた後、④のソースを添え、パセリを散らす。

(1人分の栄養価) エネルギー154kcal、糖質15.1g、たんぱく質13.9g、脂質5.6g、塩分0.7g









川南HPはこちら

フェイスブックはこちら

マチイロはこちら

広報 **かわみがみ** Vol.190

令和7年(2025年) 9月4日発行

発行/川南町役場 編集/総務課

〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1

TEL 0983-27-8001 FAX 0983-27-5879

川南町ホームページ: https://www.town.kawaminami.miyazaki.jp 川南町フェイスブックページ: https://www.facebook.com/kawaminamitown







